



かわいっ子

河合小だより

令和3年9月

「強く 正しく 温かく」－他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成－

文責：学校長



全国学力・学習状況調査のCBT化

吉岡 優

文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査が2007年に始まって、15年を超える月日が流れました。「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」とその目的が明示されています。

近い将来、当該調査を [CBT化](#) (Computer Based Testing=試験におけるプロセスをコンピュータ上で行うこと) する方向にあると文科省が [会見](#) (2020.1.31) で発表しました。というのも、有名な国際学力調査であるPISAやTIMSSもCBTにほぼ移行しており、テストのCBT化は国際的なトレンドです。学テのCBT化は、24年度から順次、25年度は中3生が本格実施と発表されました。もしかして、質問紙回答はもっと早期に導入されるかもしれません。



ご存知のとおり、本年度、子どもたち一人一人にタブレット端末が配布されました。今までの学校でもICT教育を推進はしていますが、その成果とともに、家庭でも日常的に利活用の浸透が推察され、こちらが思っていた以上に子どもたちは操作が上手で、**デジタル機器を「単なるツール」あるいは「鉛筆やノートと同じような文房具」として**、自然に活用できそうな感じです。そういう意味でも小野市で導入されている「[まなびポケット](#) (オンラインツール)」はまさしく、GIGAスクール構想の入り口そのものです。小野市の学校はこのツールを効果的に活用し、子どもたちの学びをサポートするものとなっています。すなわち、学習そのもののパラダイムシフト(価値観等の革命的变化)が起こっているのです。

前述しましたが、子どもたちを見ていると、想像以上に端末をうまく利用します。どちらかと言えば大人の方が利用できていないのかもしれませんが。私たちは「スマホ・タブレットは動画を見たり、ゲームをしたりするためだけでなく、**学習するためにこそあるのだ**」という視点で、デジタル機器の利活用について一緒に学んでいくことが求められているのです。

前述しましたが、子どもたちを見ていると、想像以上に端末をうまく利用します。どちらかと言えば大人の方が利用できていないのかもしれませんが。私たちは「スマホ・タブレットは動画を見たり、ゲームをしたりするためだけでなく、**学習するためにこそあるのだ**」という視点で、デジタル機器の利活用について一緒に学んでいくことが求められているのです。

【お願い】警報発令時の対応について

7月、大雨（洪水）警報が発令され、お迎えのお願いをしました。迅速、整然・安全に対応いただき感謝しています。



お迎えの時の再確認として、次の2点についてご留意ください。1つめは、悪天候時、急な対応を迫られる場合があります。常にスマホや携帯を持参し、こまめなチェックをお願いします。

（小野市防災メール等への登録や[災害対応アプリ](#)の活用も有効です。）また、祖父母の方がお迎えの場合もあると思いますので、日頃から警報等の情報を家族間でいち早く共有できる体制を構築ください。

2つめは、警報が発令された場合は子どもの安全を最優先とし、「児童による集団下校は中止し、家庭のお迎えで下校する」としています。「お迎え依頼メール」を発信しますので、確認されましたら、なるべく迅速に対応し、お伝えした方法でのお迎えをお願いします。

また、河合地区は川沿いという地理的状况から、洪水等の被害想定危険度レベルが高く、本校が割と早期に「避難所」に指定されることが予想されます。その際、本校職員は「避難される方の受け入れの準備と対応に従事」します。ですから、児童の引き渡しが早期に完了することで、教職員は避難所業務に専念でき、ひいては高齢者を含めた地域住民の命を守ることもつながります。地域の方の「命」を守る行動としての「早めのお迎え」を心がけていただければ幸いです。

ドッジボール・サッカーボールの寄贈



ある方から「河合小の子どもたちに役に立つものをプレゼントしたい。」との申し出がありました。その方の思いや願いを伺う中で、私としてはありがたく頂戴することがいいと判断しました。

「河合小の子どもたちがいつも元気よく挨拶をしてくれて、元気をいっぱいもらった。しんどい時やつらい時、子どもたちの笑顔と声が私に力をくれた。だから、何かプレゼントがしたいのです。」と時には涙を浮かべながらお話をされました。熱い思いがひしひしと伝わってきました。私が「せめてお名前を伺えませんか。」と尋ねたところ、「河合小の子どもたちが好きなおじさんとでもしておきましょう。」と最後まで匿名を希望されました。



学校では1学期終業式の中で担任から子どもたちへの贈呈式を行いました。2学期以降各クラスで大切に使用していきたいと思います。